


  
**企業研修**
  
 CORPORATE TRAINING MOVIE

# みんなで始めよう脱炭素

第二部 企業における脱炭素の取り組み

北海道経済部ゼロカーボン推進局  
 ゼロカーボン産業課

**TOPIC 01 自社の脱炭素を進めるメリット**

<b>メリット 01</b> 光熱費 燃料費の低減	<b>メリット 02</b> 好条件での 資金調達	<b>メリット 03</b> 市場での 優位性の構築	<b>メリット 04</b> 知名度・ 認知度の 向上	<b>メリット 05</b> 社員の モチベーションアップ 人材獲得力向上
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	--

**TOPIC 01 自社の脱炭素を進めるメリット**

<b>メリット 01</b> 光熱費 燃料費の低減	<b>メリット 02</b> 好条件での 資金調達	<b>メリット 03</b> 市場での 優位性の構築	<b>メリット 04</b> 知名度・ 認知度の 向上	<b>メリット 05</b> 社員の モチベーションアップ 人材獲得力向上
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------------	--------------------------------------	--

**01 経済的なメリット** MERIT

**02 定性的なメリット** MERIT

**01 経済的なメリット**

<b>メリット01</b> 光熱費燃料費の低減  経費を効果的に活用できる	<b>メリット02</b> 好条件での資金調達  低金利での融資獲得などが可能
--	--

**02 定性的なメリット** ※数値化できない部分

<b>メリット03</b> 市場での優位性の構築  <b>「先進的な企業」</b> というイメージ獲得	<b>メリット04</b> 知名度・認知度の向上  <b>売上の増加が</b> <b>見込める</b>	<b>メリット05</b> 社員のモチベーションアップ 人材獲得力向上  <b>意欲的で熱心な</b> <b>人材の獲得</b>
--	--	--

**TOPIC 02 脱炭素経営で重要な守りと攻め**

**守り**

**自社の排出削減**  
 自社の脱炭素化が継続的に進む流れを作り、いかに定着させるか

主な排出削減具体例

- 温室効果ガスを見える化し、削減
- 社員への教育、取引先への要請
- 再生可能エネルギー導入
- 運送配送の効率化
- 製造工程の省エネ化
- 自社商品の再利用の検討
- etc

TOPIC 02 脱炭素経営で重要な守りと攻め

POINT 攻め

**脱炭素のビジネス化**

社会（循環型社会）において  
自社がどのように永続的に  
事業を成長させるか

主な取組具体例

- ☁️ 新製品、サービス展開
- ☁️ M&A、ライセンス
- ☁️ 事業領域の再編成

etc

TOPIC 02 脱炭素経営で重要な守りと攻め

POINT 守り

**自社の排出削減**

自社の脱炭素化が継続的に  
進む決めを作り、  
いかに定額させるか

×

POINT 攻め

**脱炭素のビジネス化**

社会（循環型社会）において  
自社がどのように永続的に  
事業を成長させるか

両方をバランスよく進めていくことが大切

3STEP | 脱炭素を進める3ステップ

TOPIC 03 脱炭素を進める3ステップ

脱炭素経営を進めるには何から始めれば良いか？

**01 STEP**

💡 | 知る

☑️ 情報の収集

☑️ 方針の検討

**02 STEP**

🏢 | 測る

☑️ CO<sub>2</sub>排出量の算定

☑️ 削減ターゲットの特定

**03 STEP**

🏠 | 減らす

☑️ 削減計画の策定

☑️ 削減対策の実行

出典：環境省中小企業事業支援のための脱炭素経営導入ハンドブック（[https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3\\_03/step3guide.html#003](https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3_03/step3guide.html#003)）

STEP 01 知る / 情報の収集と脱炭素経営の方針検討

☑️ 関連他社の取組を **情報収集**

環境省グリーンバリューチェーンプラットフォーム

官公庁のウェブサイト

☑️ 脱炭素経営の **方針検討**

↑ 調べた情報を基に ↓

🎯

自社の経営方針や理念に沿った  
脱炭素経営の方向性を見極める

出典：脱炭素経営導入ハンドブックプラットフォーム（[https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3\\_01/step3guide.html#001](https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3_01/step3guide.html#001)）

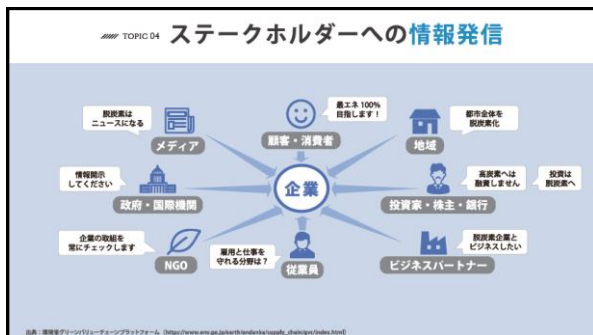
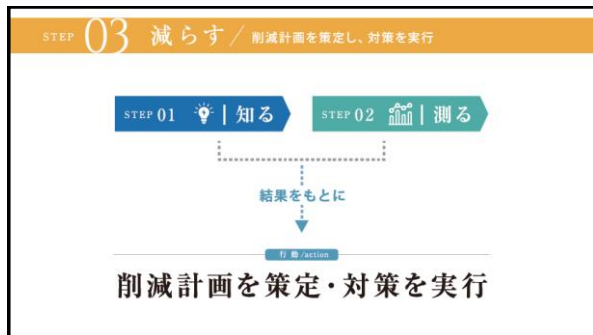
STEP 02 測る / 自社のCO<sub>2</sub>排出量を正確に算定する

SCOPE 1: 事業所内からの直接排出 (燃料の燃焼、工場プロセス)

SCOPE 2: 購入した電力 (上流)

SCOPE 3: 購入した製品・サービス、リース資産 (上流)、出張、旅行、廃棄物、その他 (仕入)

出典：環境省・中小企業事業支援のための脱炭素経営導入ハンドブック（[https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3\\_02/step3guide.html#002](https://www.ame.go.jp/earth/enterprise/step3_02/step3guide.html#002)）



SUMMARY 企業における脱炭素化への取り組み

- CHECK  脱炭素化にいち早く取り組むことでメリットを獲得
- CHECK  脱炭素経営は、「守り」と「攻め」の両軸が重要
- CHECK  自社の脱炭素化は①知る②測る③減らすの3ステップ
- CHECK  各種補助金などを活用することで負担を減らし脱炭素化を実現

